



基本計画の概要

[北海道]

● 全国育樹祭

全国育樹祭は、皇族殿下の御臨席を仰ぎ、過去の全国植樹祭において天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木のお手入れや記念式典行事などを通じ、継続して森を守り育てていくことの大切さを伝える国民的な緑化行事で、昭和52年以来、毎年秋期に開催されています。

● 本道開催の概要

[大会テーマ] つなごう未来へ この木 この森 この緑

第44回全国育樹祭は、本道では昭和62年以来、33年ぶり2度目となる大会です。

森や木に触れ親しむことを通じて豊かな心を育む北海道発祥の「木育」の取組を一層推進し、道民運動として定着させていくとともに、本道自慢の食や観光をはじめ、道産材の良さや価値、豊かな自然や景観、歴史・文化など、北海道の魅力やすばらしさをおもてなしの心で、全国から参加される皆様に伝えていくこととします。

また、環境や教育のほか食育など幅広い取組等とも連携しながら、より多くの方々に森や木と触れ合う機会を創出するほか、開催後も全道各地で育樹活動等が継続され、取組の輪が全国へと広がる契機となる大会を目指します。

- 森や木に触れ親しむ取組を通じ、本道発祥の「木育」の取組を一層推進し、道民一人ひとりに浸透させます。
- 北海道の魅力やすばらしさをおもてなしの心で、全国から参加される皆様に伝えていきます。

● 式典行事計画

【行事の概要】

開催日：令和2年（2020年）秋期 ※開催日の決定・公表は、令和2年1月頃の予定
会場：北海道立総合体育センター（通称「北海きたえーる」）～札幌市豊平区
参加者：約5,000人（中央・道外1,000、道内2,500、出演・運営スタッフ1,500）
次 第：① プロローグ

オープニングアトラクション、お手入れ行事・北海道紹介映像

② 式典〔皇族殿下御臨席〕

皇族殿下のおことば、緑化功労者等の表彰、メインアトラクション等

③ エピローグ

エンディングアトラクション

【式典会場の整備】

- ・ステージやバックパネル等に道産材を積極的に活用
- ・既存の施設や設備を最大限利用し、コストを低減

【おもてなし広場】

- ・木製遊具・木製品の展示や木工体験ができる木育コーナーを設置
- ・農産物や海産物など、北海道の恵みを堪能できる飲食コーナーを設置
- ・北海道観光等をPRする観光コーナーを設置



式典会場のイメージ



おもてなし広場
(先催県：H30 東京都)



木育コーナーのイメージ



配布弁当イメージ
(先催県：H30 東京都)

● お手入れ行事計画

【行事の概要】

開催日：式典行事の前日
会場：第58回全国植樹祭(H19)開催地
（通称「苫東・和みの森」）～苫小牧市静川地区
参加者：約200人
次 第：① 記念育樹

大会会長等による育樹活動（施肥等）

② お手入れ行事

皇族殿下による樹木のお手入れ（枝打ち・施肥等）

過去の全国植樹祭・育樹祭の様子をパネルで説明

【お手入れ会場の整備】

- ・第58回全国植樹祭式典会場跡地を活用
- ・既存の道路や駐車場を利用するなど、周辺の景観や環境に十分配慮
- ・皇族殿下御覧の説明パネル台は、第12回全国植樹祭(S36)で植樹されたアカエゾマツを使用



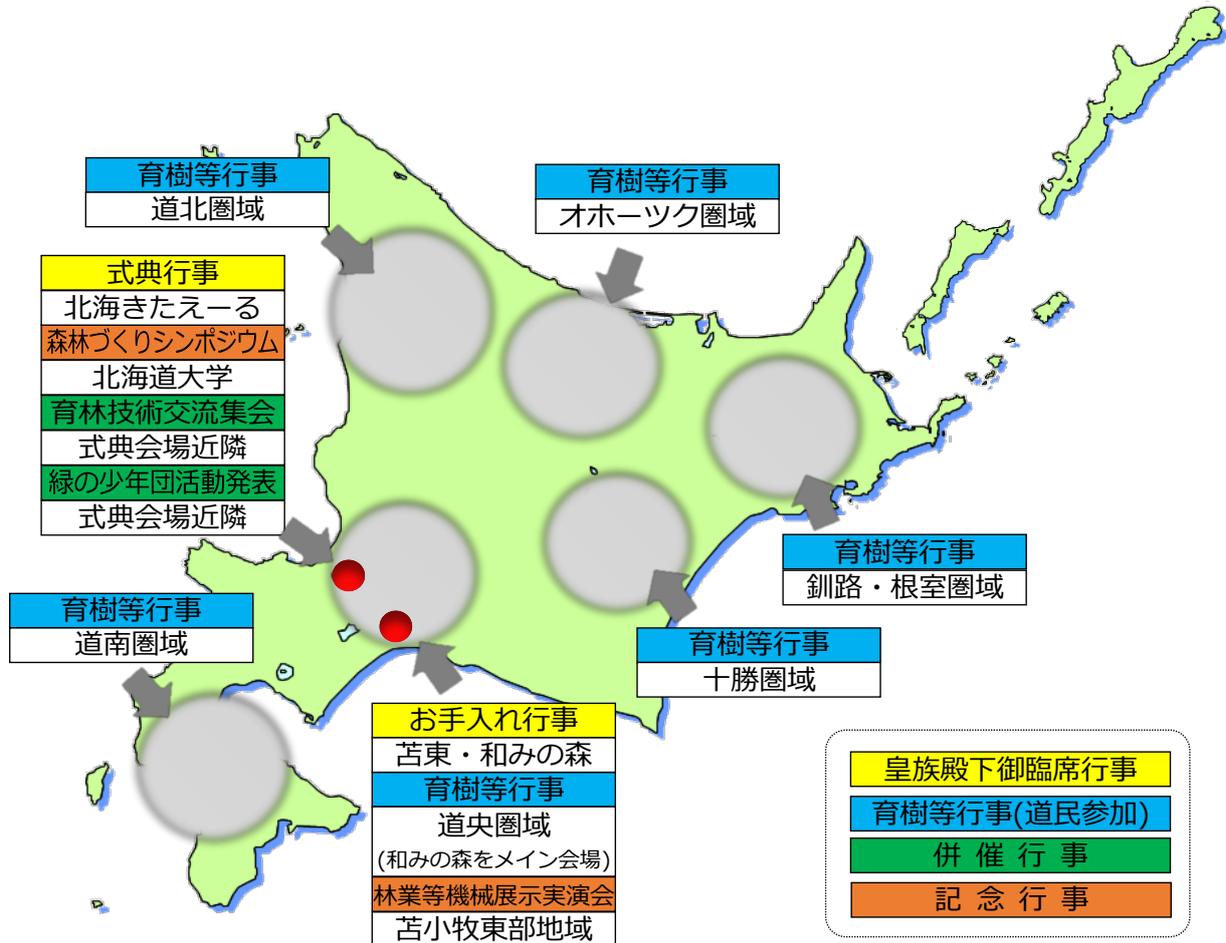
お手入れ(枝打ち)
(先催県：H30 東京都)



説明用パネル
(先催県：H30 東京都)

● 育樹等行事、併催・記念行事計画

より多くの方々と育樹の大切さへの思いを共有し、道民との協働による森林づくりを一層進められるよう、広大で多様な森林を有し、「木育」の発祥の地でもある北海道の様々な特色を活かしながら、全道6つの圏域で道民参加の「育樹等行事」を実施するほか、下記の地域で「併催行事」、「記念行事」を実施します。



【行事日程のイメージ】

令和元年(2019)	令和2年(2020)		
	式典前日	式典当日	式典翌日
<p>国民参加の森林づくりシンポジウム(10/12)</p> <p>育樹等行事 (R元秋~R2秋)</p>	<p>お手入れ行事</p> <p>レセプション</p> <p>育林技術交流集会</p> <p>全国緑の少年団活動発表大会</p>	<p>式典行事</p> <p>森林・林業・環境機械展示実演会</p>	

● 運営計画

皇族殿下の御臨席を仰ぎ、道内外から約 5,000 人が集う大きな全国行事であることから、安全の確保を最優先とし、参加される方が安心かつ快適に時間と空間を共有できる「おもてなし」の配慮が行き届いた運営を行います。

[実施本部計画]

令和2年4月頃に「第44回全国育樹祭北海道実施本部」を設置します。

[緊急対応計画]

緊急時の体制を整備します。

[宿泊・輸送計画]

- ・道外及び札幌市近郊以外の道内参加者
式典前日に実行委員会が指定する施設に宿泊の上、原則、貸切バス等指定車両を利用
- ・道内参加者（札幌市近郊）
原則、公共交通機関を利用

[その他計画]

参加者行動計画、受付計画、式典参加者計画、警衛・警護計画、救護、衛生計画、消防・防災計画、昼食計画、大会用品等配布計画、リハーサル計画、雨天・荒天時等対応計画により運営の万全を期します。

● 広報・協賛計画

[広報・PR]

大会テーマ「つなごう未来へ この木 この森 この緑」や木育の取組等を、各種イベントとの連携や広報誌、新聞、テレビ、ラジオなど多様な広報媒体を活用しながら広く普及・浸透を図ります。また、開催記録を保存するため、記録誌やDVD等を製作します。

[協 賛]

- 開催方針に賛同する企業や団体・個人を対象に協賛を募集します。
- ・物品、役務及び金銭の提供、広報への協力 等

● 開催スケジュール

時 期	内 容
令和元年度 (2019年度)	<ul style="list-style-type: none">● お手入れ会場整備等（通年）● 1年前記念行事「国民参加の森林づくりシンポジウム」開催（10月）● 育樹等行事の開催（当年度秋期から開催年度秋期まで）● 第43回全国育樹祭<沖縄県>での次期開催地知事挨拶（12/14～15）● 開催日の決定・公表（1月頃）● 実施計画作成（3月頃）
令和2年度 (2020年度)	<ul style="list-style-type: none">● 会場整備（行事開催まで）● 第44回全国育樹祭北海道実施本部設置（4月頃）● 育樹等行事の開催（前年度秋期から開催年度秋期まで）● 一般参加者募集（5月頃）● リハーサル（6月以降適宜）● 併催・記念行事（式典の開催前後）◎ 第44回全国育樹祭の開催（秋期）● 記録誌の発行（2月頃）